

単施設研究用

「研究課題名：術中ケタミン投与によるレミフェンタニル使用量の軽減効果」 に関する情報公開

1. 研究の対象

2015年1月1日～2020年3月31日に当院で頭頸部手術（耳鼻科・口腔外科）を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

手術中には通常、痛みの管理として麻薬性鎮痛薬（オピオイド）が使用されます。オピオイドの過量投与は急性耐性や痛覚過敏と呼ばれる有害事象を引き起こすことがあり、術後早期回復の妨げになります。可能であれば、オピオイドの使用は必要最低限にすることが望まれます。しかし、長時間手術の場合は必然的にオピオイド使用量が増え、有害事象のリスクが高まります。「ケタミン」という薬剤にはオピオイドの投与量を軽減できる作用はあることは分かっていますが、長時間手術においてはその効果は明らかではありません。本研究では、過去の手術記録や麻酔記録からケタミンの使用によるレミフェンタニルの使用量を評価して、その軽減効果を明らかにしたいと考えています。

研究期間は実施承認日より2022年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢・性別・身長・体重・手術内容／麻酔方法・手術時間／麻酔時間

ケタミン使用量・レミフェンタニル使用量・フェンタニル使用量

NSAIDs 使用量・血圧／脈拍データ・輸血の有無・輸液量／出血量／尿量 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65 電話：052-744-2340

担当者：名古屋大学医学部附属病院 麻酔科 藤井祐

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科 麻酔蘇生医学 西脇公俊